



こまごまをこまごまに伝える  
**こまごまNEWS**

VOL.45  
2021年2月号

発行: 責任編集  
狛江市岩戸北  
3-18-8-701  
狛江で分かりやすい  
政治を伝える会



狛江の訪問診療最前線  
コロナ禍



狛江市の機能強化型（連携型）在宅療養支援診療所  
**すまると在宅クリニック 吉川哲矢医師**  
令和3年2月12日（金）診療終了後の夜間にお話を伺っております。

今号が発行される2月下旬に、新型コロナウイルス感染症の状況がどうなっているのか予測はつきません。また、新規の感染者数は日本全体で減少傾向にあるようですが、医療現場ではまだまだ予断を許さないという論調も目にします。そこで、狛江市での医療の現場、最前線はどうなっているのか？狛江市の訪問診療医療で活躍される吉川哲矢医師にお話を伺いました。センシティブな内容が多いので、ポイントを絞ってお伝えします。

## 身近な方が自宅療養になった場合の対策を予め話し合われることも必要。

(インタビューのお相手は、すまると在宅クリニック 吉川哲矢医師、聞き手は三宅まこと)

(三宅) コロナ禍での狛江市訪問診療の状況をお聞かせ下さい。

(吉川) 昨春の段階では、医療現場も切迫したものではありませんでした。対応としては訪問頻度を少なくし、電話診療への切り替えを進めました。診療報酬への影響がないように国も柔軟に対応してくれました。

狛江市で状況が急変したのは1月以降ですね。ここ3週間ほどは狛江の在宅医療現場が急激にコロナ禍にさらされています。なかなか取材をお受けできるような時間もない状況にありました。(取材日は2月12日)

(三宅) 1月の感染者数は138名と狛江市で急増。市内の介護施設の中では感染者の公表をしている事業所もあるようです。

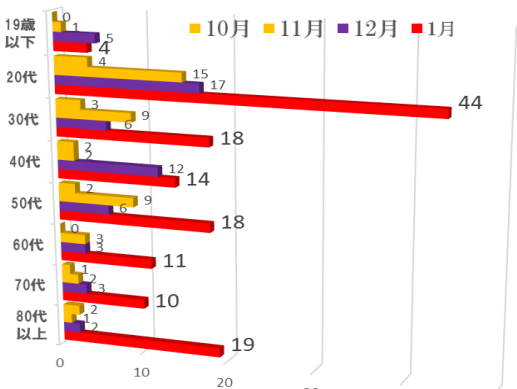
(吉川) 公表されている施設は、初動の対応もそれだけ早いですし、スタッフ数も充足して、運営に支障がないよう努力をされていると思います。

一方で公表されていない事業所があるとすれば、かなり混乱されていると思います。

(三宅) 私も議員職以外に介護の仕事に携わっていますのでわかりますが、介護事業所の職員の皆さんは感染症対策に細心の注意を払っています。それでも、感染が広がっていきます。



(吉川) このウイルスは不顕性感染という特徴があります。無症状病原体保有者という言葉にも言い換えられます。無症状でも調べてみたら陽性とわかる。



その感染の影響を受けるのは高齢者という構図になります。

(三宅) 報道されているような状況が狛江市でも起こっているわけですね。(左の)グラフは東京都公表の狛江市内の感染症患者数の状況です。1月になって急激に20代と高齢者の伸びが顕著になっています。

(吉川) 訪問診療の現場で患者さんを診させていただいていますが、悪くなる方はあつという

間に症状が悪化します。

(三宅) 狛江市のホームページに感染症患者の発生状況が日々更新されています。累計で延べ患者数と退院等患者数が表記されていますが、残念ながら市内でお亡くなりになられる方もいるようです。

(吉川) 私も市内で亡くなられた方が何人なのかわかりません。入院患者数が減ったとしても、軽快退院される方だけでなく死亡者も含まれます。

(三宅) センシティブな内容に関わらずお答えいただきまして、ありがとうございます。最後に狛江市の皆さんへメッセージをお願いします。

(吉川) 実際に医療機関だけではなく、市内の介護事業所でも、感染拡大防止に向けて懸命に闘っておられます。そうした状況ですので、今後、感染者発生状況が好転したとしても引き続き緊張感は継続していただきたいと思っています。

特に、お気に留めていただきたいのはご家族で介護サービス等を利用されている高齢者と同居されている方です。同居高齢者の場合は優先的に入院となることが多いようですが、ご家族がいらっしゃる場合は、介護サービスが中断され、ご家族が対応せざるを得ないケースが増えています。

こうした身近な方が自宅療養になった場合に備えて、ご家族で予め話し合われておくことも必要だと思います。(了)

## 今後のワクチン接種に関して、僭越ながら一言お話しをさせていただきます。



市民の皆様におかれましては、ワクチン接種に関心を持たれている方も多く存じます。報道されています通り、狛江市でも専門の所管部署が設置され、医療従事者、高齢者、それ以外の方という順番でワクチン接種の準備が進められています。今後、具体的な内容は市から広報されると思いますので、どうぞそちらをご注視ください。

さて、私からという大変おこがましいのですが、一言お話しをさせていただきます。

このワクチン接種事務は、全国各自自治体、試行錯誤で準備や調整を進めています。議員職の立場としても、行政の皆さんには遅滞なく、段取りよく事務作業を行ってほしいと思いますが、なせ初めて行われる行政事務です。予期せぬことが起こるかもしれません。

例えば、吉川先生のお話しをお聞きして、はっと気が付いたのですが、訪問診療や介護サービスを介して接種できない高齢者の中にもお足元が不自由な方はたくさんいらっしゃると思います。

そうした場合、行政がご迎えにいくのか、注射をうちにくのかあるいは自力でタクシー等を使っていたり、解決していかなくてはいけない課題はたくさんあります。現段階では、こうしたケースが他にも山積んでいます。

もちろん、行政にも万全を尽くしていただきたいと思いますが、こうした状況にありますので市民の皆様のご協力も不可欠になります。どうぞ、皆さんのお力を結集して、この難局を乗り切ってまいりましょう。